

◆ おらほの地域から元気発信 ◆

まちづくりなみえ

地域づくり支援専門員が見た大堀地区

地域の紹介

大堀地区

『特定復興再生拠点区域』『帰還困難区域』『避難指示解除区域』が混在している大堀地区。町民が集うことができる場所もでき始めており、少しずつ変化する地区の様子を紹介します。

まずは谷津田行政区の話題です。昨秋、集会所の修繕工事が完了しました。緑を基調とした色合いで、ひときわ目を引く集会所です。谷津田行政区では、定期的に避難先からも住民が集まり草刈りなどの環境整備活動が行われており、今後は、きれいに整備されたこの集会所でゆっくりと休憩ができることでしょう。

小野田行政区にある清水寺では、境内の入口に新たに東屋が完成しました。年季の入った柱が特徴的なこの東屋は、小野田の天神社での盆踊りで使用されていた檜を再利用しています。さらに昨年春、小丸にあった安産の守仏『如意輪観世音菩薩』



谷津田集会所

を利用していません。さらに昨年春、小丸にあった安産の守仏『如意輪観世音菩薩』



檜を再利用した東屋



如意輪観世音菩薩

が清水寺の敷地に移設されました。震災前は観音様の周辺で盆踊りが行われるなど、地域の皆さんに親しまれていました。これから暖かくなり、お彼岸には観音様にお参り、藤の花の咲く頃にはお花見など訪れる人が増えることでしょう。新しくできた東屋でひと休みしている町民の笑い声が響きそうです。

最後にお伝えするのは「陶芸の杜おおぼり」について。陶芸の杜おおぼりは、国指定伝統的工芸品大堀相馬焼の物産会館として愛されていた施設です。特定復興再生拠点区域の施設として今春の避難指示解除を目指しています。

地域づくり支援専門員
引地裕子がレポート
しました。



町のできごと

苧宿行政区



参加者で集合写真



苧宿環境保全会会長
松本伸一さん(苧宿)から挨拶



花を植え地域に彩りができました

花植え活動

苧宿行政区では11月23日(水)に花植え活動が実施されました。当日はあいにくの天気でしたが町外で暮らす人も多く参加され、30人以上が集まりました。

この取組は、避難指示解除後は2018年から苧宿環境保全会が中心となり、農林水産省の多面的機能支払交付金を活用して行っています。

花植え活動を行った場所は、県道257号仲ノ森加倉線の加倉橋を渡ってすぐの道路に面した花壇です。今回はパンジーやビオラ合計2,400株を定植しました。

黄色い花を外側に置くことで「スピード抑制」に少しでもつながるようにと、交通事故防止への想いも込められています。

地域づくり支援専門員
吉田めぐみがレポート
しました。

